取扱説明書

保証書別添付

日立電気掃除機

型式

シーブイ　エスワイ

CV-SY100

HITACHI
Inspire the Next

このたびは日立電気掃除機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この掃除機は家庭用です。業務用や掃除以外の目的にはご使用にならないでください。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

お読みになったあとは、保証書とともに大切に保存してください。

「安全上のご注意」→**(P.4、5)**をお読みいただき、正しくご使用ください。

もくじ

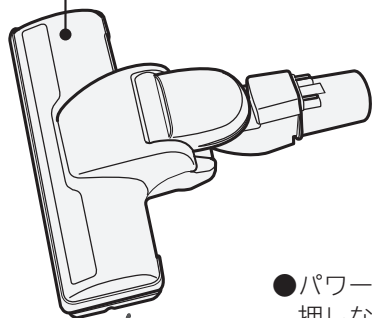
ご使用の前に

使いかた

お掃除が終わったら

こんなときは

各部のなまえと組み立てかた

パワーヘッド
→(P.10、11、21、22)

スライドつまみ
→(P.6)

フック
→(P.11)

延長管

取り外しボタン

ホーススタンド→(P.17)

クルッと切替えブラシ
吸口→(P.11)

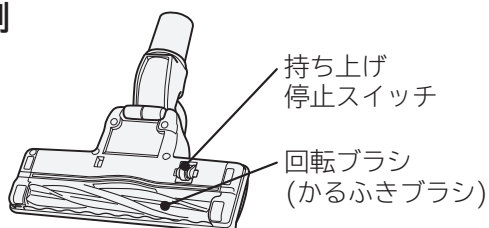
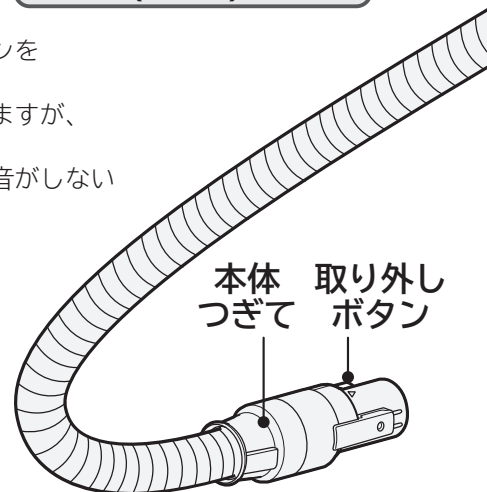
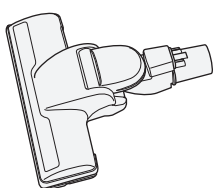
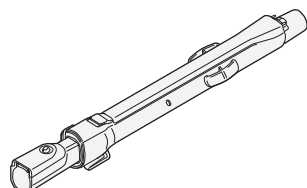
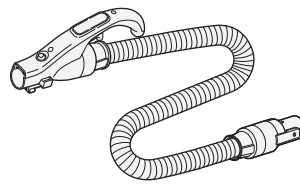
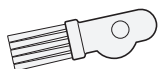
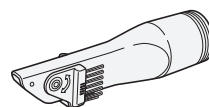
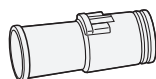
●パワーヘッド、延長管を外すときは、取り外しボタンを
押しながら抜いてください。
●パワーヘッドを振ると、構造上、カラカラと音がしますが、
異常ではありません。
●パワーヘッド、延長管の取り付けの際、「カチッ」と音がしない
ことがありますが、異常ではありません。

本体
つぎて

取り外し
ボタン

裏側

持ち上げ
停止スイッチ

回転ブラシ
(かるふきブラシ)

標準付属品		
パワーヘッド（1個） (ごみハンターヘッド D-AP39)	延長管（1本） (サッとズームパイプ)	ホース（1本）

付属応用部品		
お手入れブラシ（1個） (ダストケース側面に取り付けられています)	サッとハンドル（1個）	クルッと切替えブラシ吸口（1個） →(P.11)
別売り部品接続用アタッチメント（1個） →(P.12)	ティッシュペーパー（1枚）→(P.16) （ダストケースに取り付けられています）	

●標準付属品と付属応用部品は、個別にお買い求めいただけます。お買い上げの販売店にご相談ください。

取り外しボタン

スタンドフック→(P.17)

収納フック→(P.17)

ホース

手もと操作部
グリップハンドル
運転スイッチ→(P.7)
手もとレバー→(P.6)

本　体

固定ハンドル

電源プラグ

電源コード

電源コード巻き取りボタン→(P.17)

本体のランプ→(P.9)

排気口

フィルターお手入れ機構

電源コードを引くと、フィルターカバー(ビートパネル)が振動し、クリーンフィルターに付着した微細なごみを落として目詰まりを抑えます。

クリーンフィルター

フィルターカバー(ビートパネル)

車輪

サッとハンドル

カチッ

サイクロン室→(P.19、20)

ふた(内筒)

ダストケース→(P.13～16、18)

ダストケース取り外しレバー

ごみすてボタン

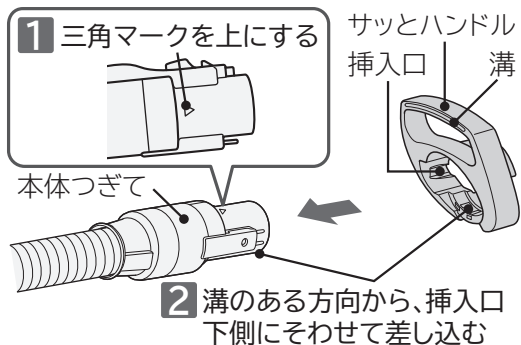
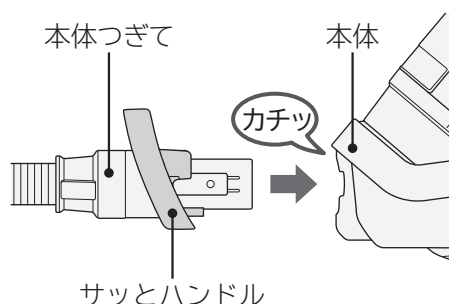
立体フィルター

ダストケースふた

クリーンフィルター

お手入れブラシ
(ダストケース側面に取り付けられています)

サッとハンドルの取り付けかた

1 サッとハンドルを本体つぎてに取り付ける

2 サッとハンドルを取り付けた本体つぎてを本体に差し込む

安全上のご注意　必ずお守りください

ご使用になる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

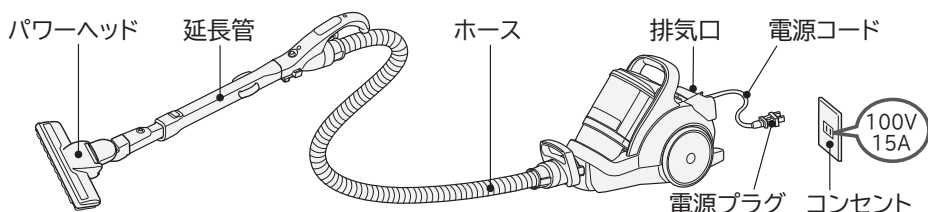
■表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

表示	内容
⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の説明

「警告や注意を促す」内容のものです。

してはいけない「禁止」内容のものです。

必ず実行していただく「指示」内容のものです。

⚠警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

・スイッチを押しても、運転しない
・電源プラグやコードを動かすと、通電したりしなかったりする
・運転中、時々止まる
・運転中、異常な音がする
・本体が変形したり、異常に熱い
・ホースが破れている
・こげくさい"におい"がする
・その他の異常がある

発煙・発火・感電のおそれがあります。
すぐにスイッチを切り、電源プラグを抜いて、販売店へ点検・修理を依頼してください。

電源(コンセント・プラグ・コード)

●定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う
●電源プラグは根元まで確実に差し込む
●ごみ捨てやお手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く
●電源プラグのほこりなどは定期的に乾いた布でふき取る

●電源コードを傷つけない
〔傷つけ・加工・無理な曲げ・引っ張り・ねじり・重いものを載せる・挟み込むなどしない〕
●傷んだ電源コード・電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しない
●電源コードを回転ブラシに巻き込まない
●ぬれた手で抜き差ししない

火災・感電の原因となります。

パワーヘッド(吸込口)

●回転ブラシや持ち上げ停止スイッチには触れない
けがの原因となります。
特にお子さまにはご注意ください。

そのほか

●引火性のもの、可燃物、火気のあるものの近くで使用しない、吸わせない〔灯油、ガソリン、シンナー、ベンジン、トナー、可燃性ガス(スプレー)、たばこの吸い殻など〕
●押しピン、針、つまようじ、じゅうたん洗浄剤などの泡、のようなものを吸わせない
●改造はしない。修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない
●水洗いをしたり風呂場で使用しない(水洗いできる部品は除く)

爆発・火災・感電・けがの原因となります。

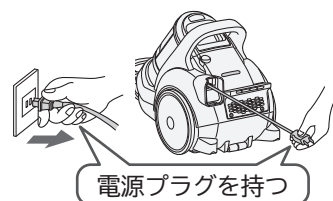
⚠注意

電源(コンセント・プラグ・コード)

●使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く
絶縁劣化による感電・発火の原因となります。

●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜く
電源コードが傷つき、ショート(短絡)して感電・発火することがあります。

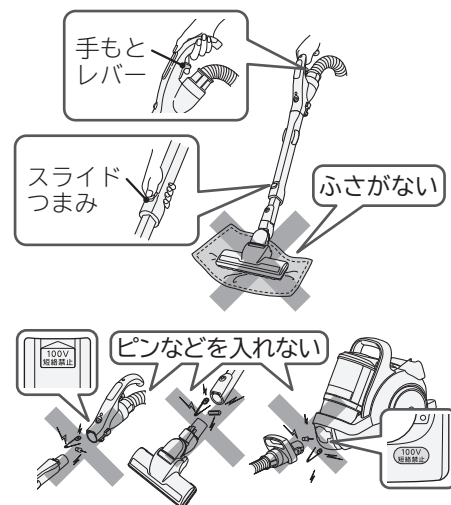
●電源コードを巻き取るときは電源プラグを持つ
電源プラグが当たってけがをすることがあります。
運転終了直後は、電源プラグの刃先が熱くなることがあり、やけどのおそれがあります。

●電源コードは、水平に引き出す
上方向に引き出すと、本体とのこすれにより電源コードが破損して感電・発火の原因となります。

パワーヘッド(吸込口)・ホース・延長管

●運転中に吸込口をふさいで、スライドつまみをスライドさせたり、手もとレバーを引かない
延長管が急に縮んで、けがをすることがあります。

●吸込口をふさいで長時間運転しない
過熱による本体、パワーヘッドの変形・発火の原因となります。

●ほかの製品に取り付けて使わない
過熱によるパワーヘッドの変形・発火の原因となります。

●ホースや延長管の先端で掃除をしたり、ホース差し込み口、ホース、延長管の接点にピンなどを入れない
ショート(短絡)して感電・発火の原因となります。

排気口

●排気口をふさがない
過熱による本体の変形・発火の原因となります。

●排気口から出る風を、長時間体に当てない
低温やけどをすることがあります。

そのほか

●火気に近づけない
本体の変形によりショート(短絡)して感電・発火の原因となります。
排気により炎が大きくなり、火災の原因となります。

●ダストケースを取り外したまま、電源コードを引き出さない
フィルターカバー(ビートパネル)で手などをけがすることがあります。

使用上のお願い

故障などを防ぐために、次のことをお守りください。
また、本文中の お願い 事項についてもよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

●電源コードは赤印以上無理に引き出さない
断線の原因となります。

●パワーヘッド、延長管、ホースを強くぶつけない
破損の原因となります。

●ホースや延長管の先端で掃除しない
接触不良や破損の原因となります。

●持ち運びするときは、ホースを持ってぶら下げない
ホースの破損の原因となります。

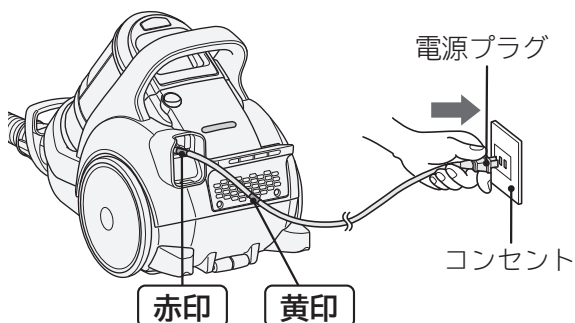
●本体に乗らない
故障の原因となります。

●次のようなものは吸わせない
異臭や故障の原因となります。
・水や液体　・湿ったもの　・吸湿剤(湿気取り)
・多量の砂や粉　・長いひも　・ガラス

●水洗いした部品は十分に自然乾燥させる
異臭や故障の原因となります。

運転のしかた

1 電源コードを引き出し、電源プラグをコンセントに差し込む

電源コードを引き出すと､「フィルターお手入れ機構」が作動します。→(P.3)

●フィルターお手入れの効果を出すため、お掃除のときは電源コードを黄印まで引き出してください。
●電源コードを引き出すとき・巻き取るときのカタカタ音は「フィルターお手入れ機構」の音です。異常ではありません。
●電源コードを巻き取るときは、フィルターお手入れをしません。

⚠警告

火災のおそれあり
定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う
●延長コードを使用したり、ほかの電気製品と同時にコンセントをご使用にならないでください。

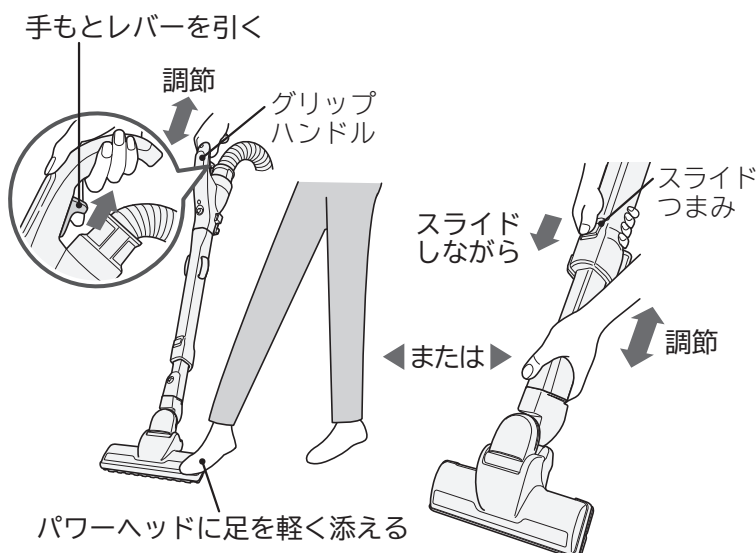
⚠注意

けがのおそれあり
●ダストケースを取り付けてから、電源コードを引き出してください。フィルターカバー(ビートパネル)の振動で、手などをけがすることがあります。

お願い

●電源コードは赤印以上引き出さないでください。断線の原因となります。

2 延長管の長さを調節する

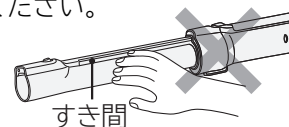
パワーヘッドに足を軽く添えて、手もとレバーを引きながらグリップハンドルを上下させる
または、スライドつまみをスライドしながら、延長管を伸縮させる

お願い

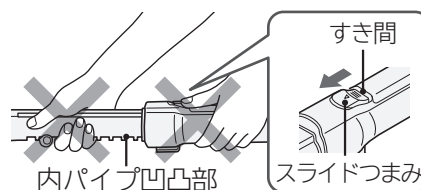
●手もとレバーを使って延長管を伸ばすときは、確実に手もとレバーを引いてください。パワーヘッドが外れることがあります。

⚠警告

けがのおそれあり
運転中はパワーヘッドに足を添えない
●回転ブラシに巻き込まれるおそれがあります。

⚠注意

けがのおそれあり
●運転中に吸込口をふさいで手もとレバーを引いたり、スライドつまみをスライドさせたりしないでください。延長管が急に縮むことがあります。
●延長管のすき間に手などを入れないでください。

●掃除をするときや延長管を縮めるときは内パイプの凹凸部を持たないでください。また、延長管を伸縮させるときは、スライドつまみと延長管のすき間に手などを押しつけないでください。手を挟むことがあります。

3 運転スイッチを押す

お好みで運転したいとき

押すごとに「強」→「中」→「弱」→「強」…の順に切り替わり、運転します。

じゅうたんの念入りなお掃除に

中 **普通のお掃除に**

弱 **フローリング、畳などのお掃除に静かにお掃除したいときに**

本体の運転状態に合わせて、回転ブラシの回転力が切り替わります。

自動で運転したいとき

「eco これっきりボタン」を押して運転すると、センサーが床面の種類や状態と、パワーヘッドの操作のしかたを感知して、自動で「中」「弱」運転を切り替えます。→(P.8)

自動運転に合わせて、回転ブラシの回転力も切り替わります。

お知らせ

センサーは、次のようなことを感知して自動で運転を切り替えます。

- ●床面の凹凸や傷み
- ●じゅうたんの毛の向きや倒れ具合
- ●パワーヘッドの操作速度および方向転換
- ●パワーヘッドの操作停止

このため、同じような床面をお掃除していても、運転が切り替わることがあります。

手もと操作部

回転ブラシ(パワーブラシ)の回転を止めたいとき

運転中に押すごとに「切」→「入」→「切」… の順に切り替わります。

本体の運転が止まっているときに、「パワーブラシ切/入」スイッチを押しても、掃除機は運転しません。また、回転ブラシも回転しません。

「ecoこれっきりボタン」で運転中は、「パワーブラシ切/入」スイッチを押しても、回転ブラシの回転は止まりません。

運転を止めたいとき

「切」スイッチを押します。

⚠注意

けがのおそれあり

●吸込口をふさいで、「強/中/弱」スイッチや「ecoこれっきりボタン」を押さないでください。
ホースが急に縮んで、本体が転倒することがあります。

運転時の機能

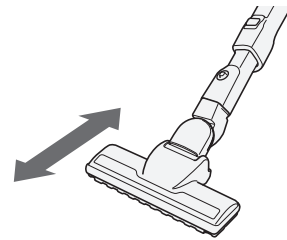
「ecoこれっきりボタン」による自動運転

●センサーが床面の種類や状態と、パワーヘッドの操作のしかたを感知して、自動で「中」「弱」運転を切り替えます。

1 「ecoこれっきりボタン」を押す

最初は「中」運転になります。

2 パワーヘッドを前後に動かす

床面に適した自動運転を開始します。

●「ecoこれっきりボタン」による自動運転を始めると、本体のランプが緑に点灯してお知らせします。→**(P.9)**

こんなときは

「ecoこれっきりボタン」による自動運転中

●「パワーヘッドを床面から浮かせる」または、「パワーヘッドを取り外す」操作を行った場合は、その前の運転状態を保ちます。

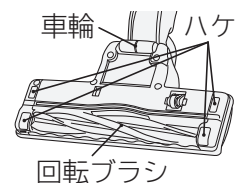
●「パワーブラシ切/入」スイッチを押しても、回転ブラシの回転は止まりません。

「ecoこれっきりボタン」を押して自動運転を開始するとき

●パワーヘッドを取り外した状態のときは、「中」運転を保ちます。

●「パワーブラシ切/入」スイッチを押して回転ブラシの回転を止めた状態でも、回転ブラシが回転します。

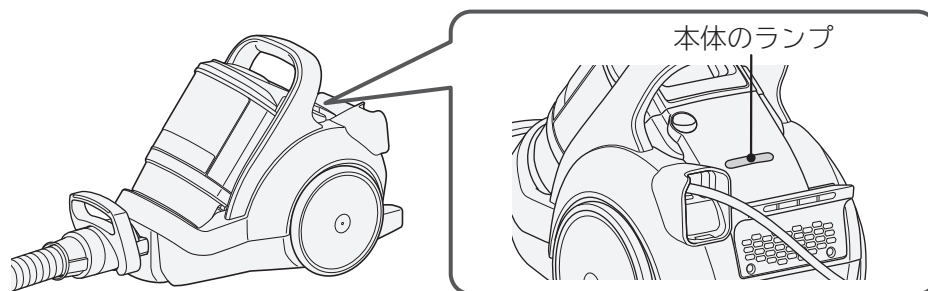
お願い ●パワーヘッドのハケ、車輪、回転ブラシが磨耗していると、センサーが床面の種類や状態と、パワーヘッドの操作のしかたを正しく感知できないことがあります。

磨耗しているときは、お早めにお買い上げの販売店にご相談ください。(ハケ、車輪、回転ブラシは同時交換をおすすめします)→**(P.26、27)**

回転ブラシの回転力について

●本体の運転状態によって、回転ブラシの回転力が切り替わります。

本体の運転状態	回転ブラシの回転力
「強」運転のとき	強
「中」運転のとき	強
「弱」運転のとき	弱

●パワーヘッドを床面から浮かせると、安全のために回転ブラシの回転が止まります。→**(P.10)**

本体のランプ

緑	点灯	「eco これっきりボタン」による自動運転中のお知らせです。→**(P.8)**
赤	点滅	フィルターお手入れ→**(P.18～20)**のお知らせ(目安)です。 ※「弱」運転のときは、本体のランプは赤点滅しません。

こんなときは

ごみがいっぱいでも「本体のランプ」が赤点滅しない

●綿ごみなどが多いとき
お掃除が終わったら「立体フィルター」と「クリーンフィルター」のごみを捨ててください。

ごみが少なくても「本体のランプ」が赤点滅する

●細かい砂ごみ、土ぼこりを吸わせたとき
ごみ捨て／フィルターのお手入れをしてください。→**(P.13～16、18～20)**

●毛足の長いじゅうたんなどで吸込口がふさがれたときや、クルッと切替えブラシ吸口などをご使用のとき
吸込風量が少なくなっています。吸込口を掃除面から離し、「本体のランプ」の赤点滅が消灯すれば、そのままご使用いただけます。

●ティッシュペーパーを取り付けたとき
ごみ捨て／フィルターのお手入れをしてください。

●延長コードを使用したり、ほかの電気製品と同時にコンセントをご使用のとき
電源電圧が低下することがあります。定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独でご使用ください。

お掃除のしかた

パワーヘッド

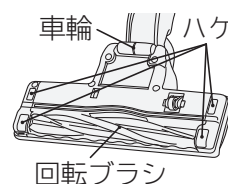
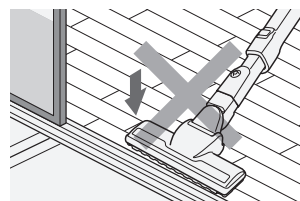
●吸口を前後に動かしたり、床面に合った操作のしかたで、上手にお掃除ができます。

じゅうたん	**前後に動かしてお掃除します。引くときにごみがよく取れます。** ●初めてお掃除するじゅうたんの場合、あそび毛がたくさん取れることがあります。
フローリング・畳	**床面の傷つき防止のため、フローリングや畳の目にそって動かします。** ●新しい畳をお掃除する場合、畳表面に磨かれた跡が生じることがありますので、気になる場合は、回転ブラシを止めてご使用ください。 ●パワーヘッドを手前に引いたとき、床面にほこりが残る場合は、パワーヘッドを一度持ち上げて吸い取ってください。

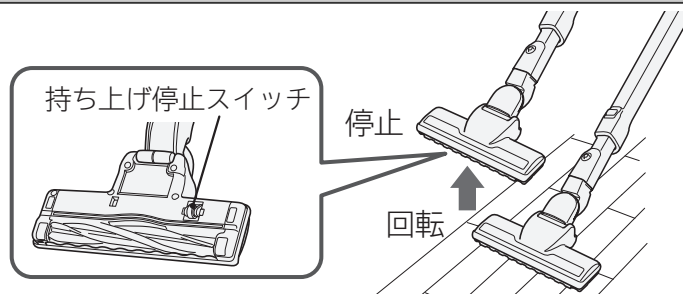
⚠警告

けがのおそれあり
パワーヘッドを引くときに、体の一部(足の上など)に乗り上げない
●回転ブラシに巻き込まれるおそれがあります。

⚠注意

床面に傷を付けるおそれあり
●特にひのきやクッションフロア※などの傷つきやすい床の場合、運転中はパワーヘッドを同じ位置に止めたままにしないでください。
また、パワーヘッドを床面に強く押しつけないでください。
●車輪にごみが絡みつくと、車輪が回転できず、磨耗と床傷つけの原因となります。
定期的にお手入れしてください。→**(P.21)**
●ハケ、車輪、回転ブラシが磨耗しているときは、お早めにお買い上げの販売店にご相談ください。(ハケ、車輪、回転ブラシは同時交換をおすすめします))→**(P.26、27)**
※クッションフロアとは、表面に塩化ビニルなどを用いたクッション性のある床材のことです。

お願い ●床面の種類によっては、操作が重くなることがあります。
このようなときは、「弱」運転に切り替えてください。

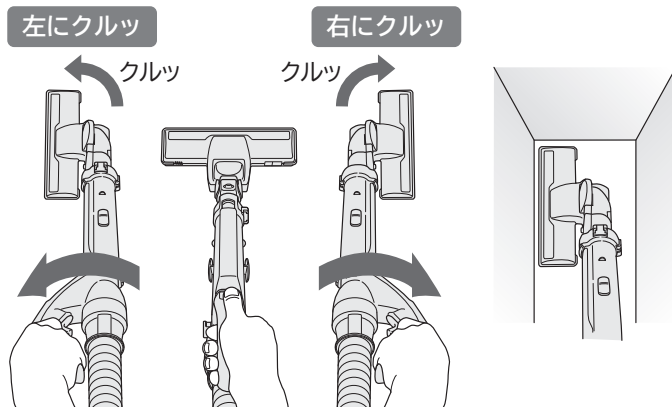
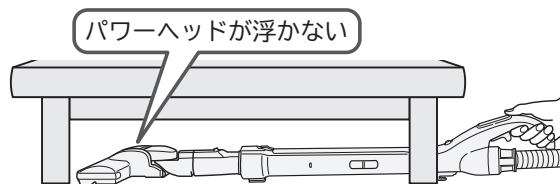
■パワーヘッドの持ち上げ停止スイッチ

パワーヘッドを床面から浮かせると、安全のために持ち上げ停止スイッチが作動して、回転ブラシの回転が止まります。

●持ち上げ停止スイッチ部のお手入れは→**(P.21)**

⚠警告

けがのおそれあり
パワーヘッドの回転ブラシや持ち上げ停止スイッチには触れない
●回転ブラシが回転することがあります。特にお子さまにはご注意ください。

■クルッとヘッド・ペタリンコ構造

●グリップハンドルをひねると、パワーヘッドの向きがクルッと変わり、すき間などの狭い場所もスムーズにお掃除できます。

●ベッドの下など低い場所(8cm以上)でも奥までしっかりお掃除できます。

⚠注意

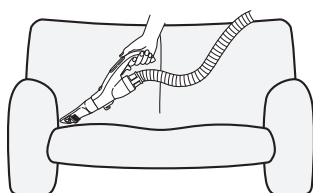
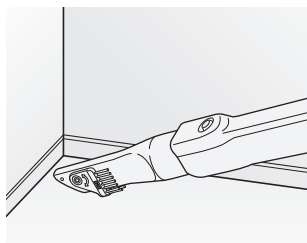
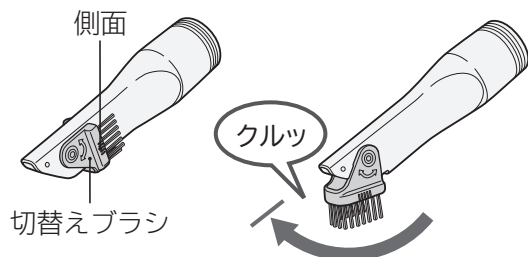
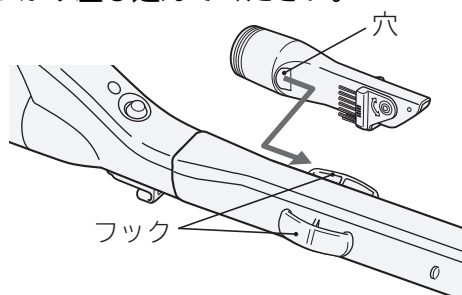
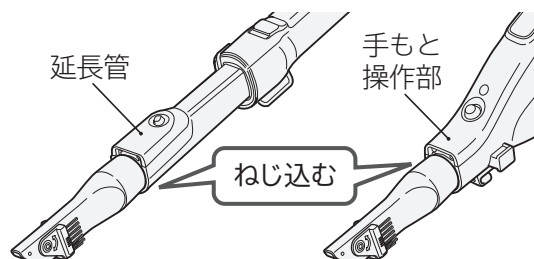
床面に傷を付けるおそれあり

●ハケ、車輪、回転ブラシが磨耗しているときは、お早めにお買い上げの販売店にご相談ください。
(ハケ、車輪、回転ブラシは同時交換をおすすめします)→**(P.26、27)**

クルッと切替えブラシ吸口

●狭いすき間や隅をお掃除する吸口です。

お部屋の隅のお掃除に

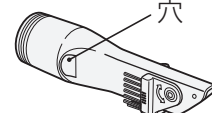
ソファーの隅などのお掃除に

●お掃除する場所に合わせてブラシの使い分けができます。切替えブラシの側面を持って矢印の方向に回転させ、先端に固定してください。

●左右いずれかのフックに差し込んで収納します。クルッと切替えブラシ吸口の穴を延長管のフックにしっかり差し込んでください。

●延長管か手もと操作部にねじ込んでご使用ください。

⚠注意

けがをする・傷を付けるおそれあり

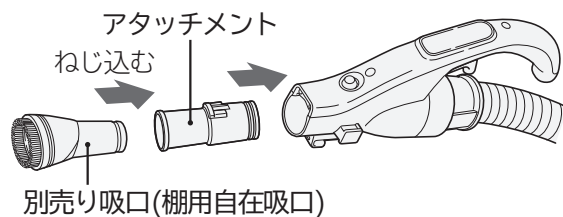
●切替えブラシを固定するときは、手を挟まないように側面を持って回転させてください。

●ピアノなど特に傷つきやすい場所には、ブラシを押しつけないでください。

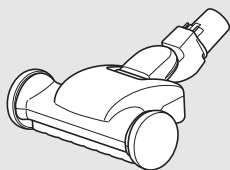
お願い

●クルッと切替えブラシ吸口は主に先端から空気を吸い込んでいます。さらに、側面の穴からも空気を吸い込んでいるため、吸い込み音がしますが異常ではありません。
側面の穴にごみが詰まっている場合は、本体モーターの保護のため、ごみを取り除いてください。

お掃除のしかた(続き)

あると便利な別売り吸口、部品

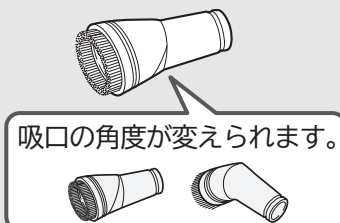
●付属の別売り部品接続用アタッチメントを使うと、別売りの吸口が使えます。→(P.27)
アタッチメントは、手もと操作部または延長管に取り付けてご使用ください。

電動ふとん吸口(G-DF1)

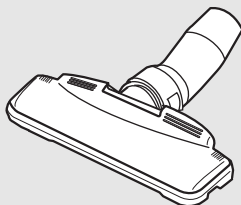
ふとんを傷めず、ダニ・ほこり・糸くずなどを吸い取る吸口です。

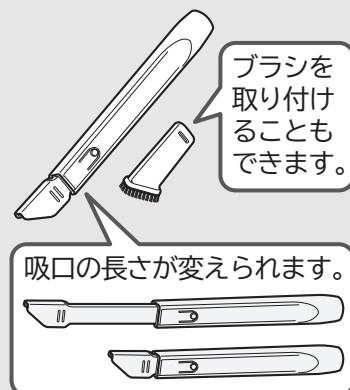
別売り部品接続用アタッチメントは必要ありません。

はたき吸口(D-H3)

はたき感覚で、エアコン、ブラインド、家具などをお掃除する吸口です。
ブラシ部分は水洗いができます。

棚用自在吸口(D-TJ2)

吸口の角度を変えて、棚の上などをお掃除する吸口です。
水洗いができます。

丸洗いフローリングヘッド(D-F3)

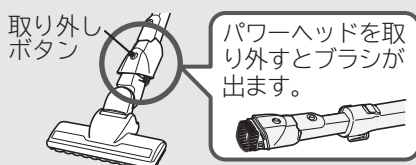
フローリング、畳に適した大きめのふき専用ブラシ付きの吸口です。(「中」「弱」運転でご使用ください)
水洗いができます。

伸縮すき間用吸口(D-SH2)

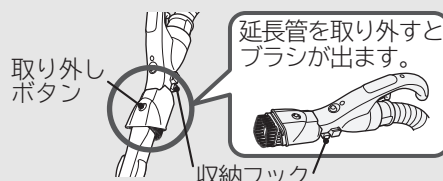
すき間の奥まで届く、先が細い2段伸縮の吸口です。
水洗いができます。

クルッとブラシ

棚の上やすき間をお掃除する吸口です。
ブラシを回して角度が変えられます。

別売り部品接続用アタッチメントは必要ありません。

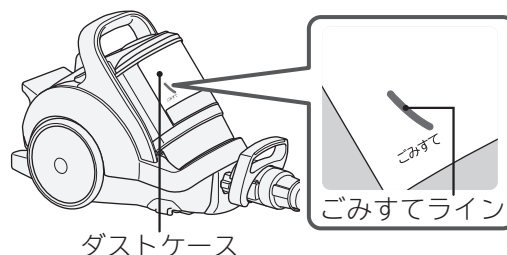
●延長管または手もと操作部に取り付けてご使用ください。
●クルッとブラシを付けたままパワーヘッド(または延長管)を取り付けることができます。パワーヘッド(または延長管)を取り付けるとブラシが収納されます。(ブラシの角度をまっすぐにしてください)

延長管に取り付けて使用するとき

クルッとブラシを延長管(パワーヘッドとの間)に取り付けると、ホーススタンドと本体の溝の高さが合わなくなるため、収納ができなくなります。収納するときは延長管から外すか、手もと操作部に取り付けてください。

手もと操作部に取り付けて使用するとき

手もと操作部に取り付けるときは、収納フックをホース側にスライドしてください。→(P.17)

ごみの捨てかた

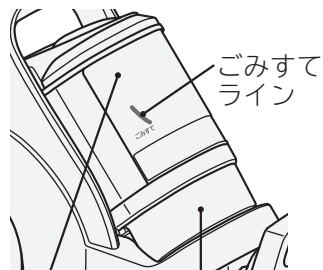
●サイクロン式のクリーナーは、「紙パックがいらない」という特長を持っていますが、強い吸込力でお掃除していただくためには、こまめなごみ捨て、フィルターのお手入れをおすすめします。

●ダストケースのごみは、「ごみすてライン」を超える前に捨ててください。
●お掃除が終わったら、「ごみすてライン」を確認してください。

⚠ 警告
感電・けがのおそれあり
●ごみ捨ての際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

お願い ●ごみ捨ての際に細かなほこりが舞い上がることがあります。
屋外など、換気のよい環境でごみ捨てをしていただくか、マスクを着用するなどして、ほこりを吸い込まないようにしてください。

ごみすてラインの確認のしかた

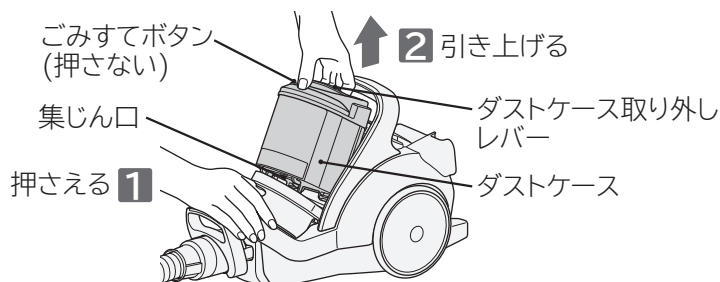
お願い ●「ごみすてライン」を超えてごみを吸い込んだ場合、サイクロン室側にごみがこぼれます。
強い吸引力でお掃除していただくためにも、こまめなごみ捨てをおすすめします。

ダストケース内のごみが「ごみすてライン」を超えていないか確認する

●ダストケースのごみ捨ての際は、1「立体フィルター」と2「クリーンフィルター」のごみを捨ててください。→(P.14～16)
●「ごみすてライン」を超えてごみを吸い込んだ場合、サイクロン室側にこぼれたごみを取り除いてください。
●サイクロン室にごみが詰まった場合は、サイクロン室を取り外してお手入れしてください。→(P.19、20)

ダストケースの取り出しかた

ダストケースを取り出す

1 **本体の前側を手で押さえる**

2 **ダストケース取り外しレバーを持って、上に引き上げる**

お願い ●ダストケースを取り出すときは、「ごみすてボタン」を押さないでください。
ごみがこぼれる場合があります。本体内・サイクロン室にごみがこぼれたときは、ごみを取り除いてから元どおりダストケースを取り付けてください。
●ダストケースを置くときは、集じん口を下に向けないでください。
ごみがこぼれる場合があります。

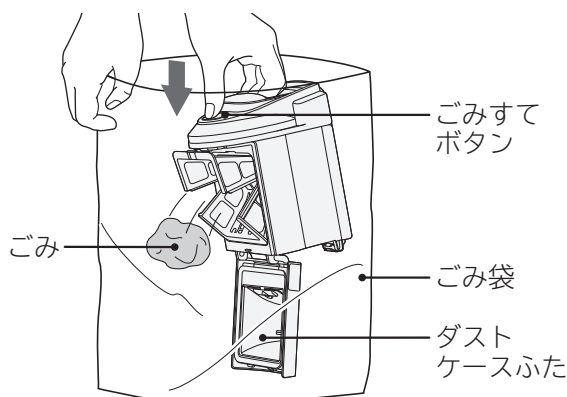
ごみの捨てかた(続き)

ダストケースのごみの捨てかた

1「立体フィルター」のごみの捨てかた

1

ごみを捨てる

ダストケースを大きめのごみ袋に入れ、ダストケースふたを下方に向けてごみすてボタンを押す

⚠警告

けがのおそれあり
ごみを捨てるときは、ダストケース下部を持たない

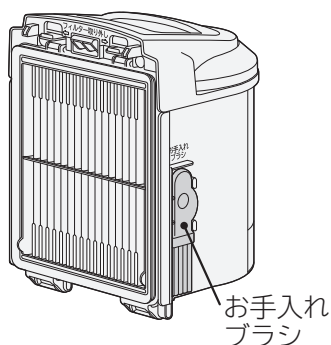
●手を挟むおそれがあります。

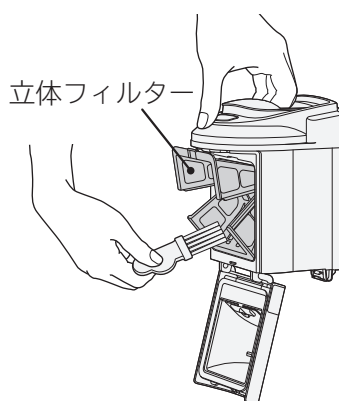
お願い

●ごみが出にくい場合は、ダストケースの側面をたたくなどして振動を加えてください。

2

付着したごみを取り除く

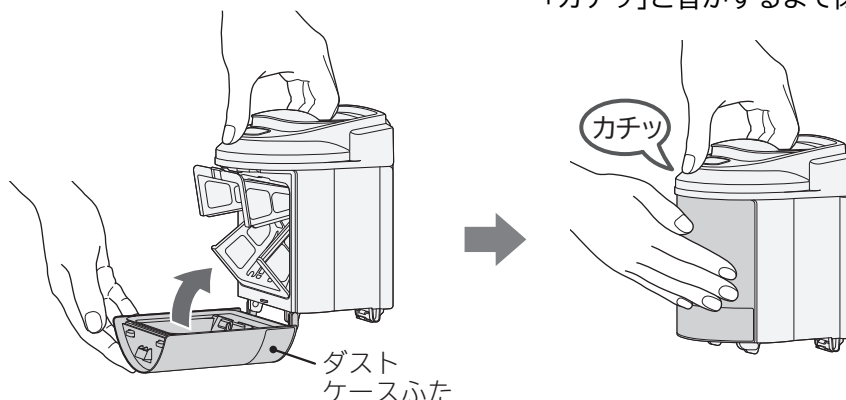
1 ダストケース側面に取り付けられているお手入れブラシを取り外す

2 立体フィルターの目詰まりを取り除く

⚠注意

けがのおそれあり

●ガラスの破片や虫ピンなど鋭利なものを誤って吸い込んでいる場合があります。注意してお手入れしてください。

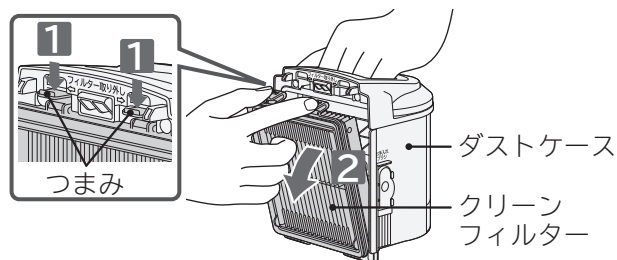
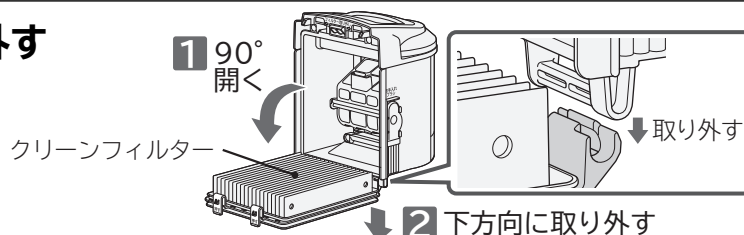
3

ダストケースふたを閉める

「カチッ」と音がするまで閉める

2「クリーンフィルター」のごみの捨てかた

1 ごみを捨てる

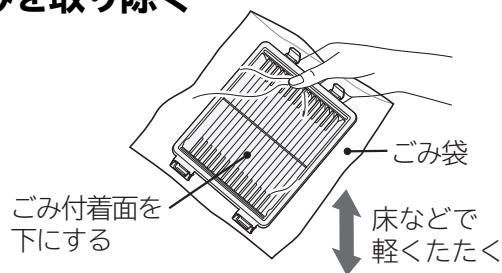
ダストケースをごみ箱の上または大きめのごみ袋に入れ、クリーンフィルターのつまみを下に押し下げながら、矢印の方向に開く

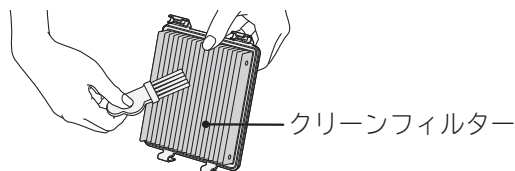
●クリーンフィルターを軽くたたいて付着したごみを落としてください。

2 クリーンフィルターを取り外す

3 クリーンフィルターのひだの奥にたまったごみを取り除く

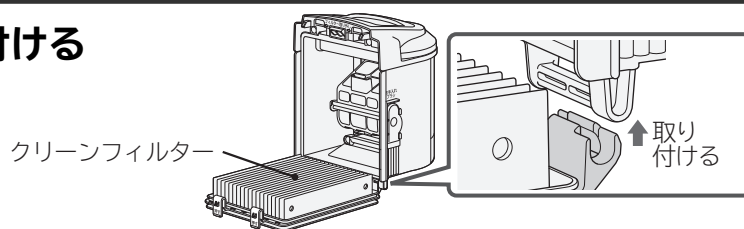
クリーンフィルターをごみ袋に入れ、床などで軽く5回程度たたいて奥にたまったごみを取り除く

⚠注意

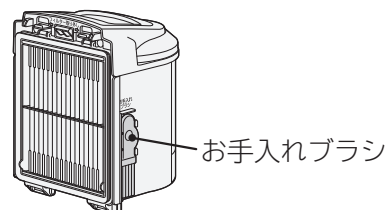
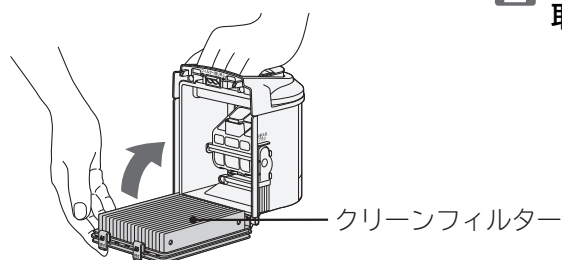
傷を付けるおそれあり

●床に傷が付くおそれがある場合は、新聞紙などを厚めに敷いてください。

4 付着したごみを取り除く

クリーンフィルターの表面に付着したごみをお手入れブラシで取り除く

5 クリーンフィルターを取り付ける

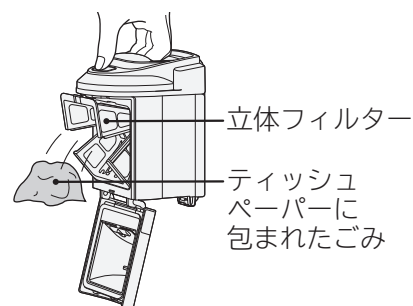
取り外した逆の手順で取り付ける

6 クリーンフィルターを閉め、お手入れブラシを取り付ける

1 「カチッ」と音がするまで閉める

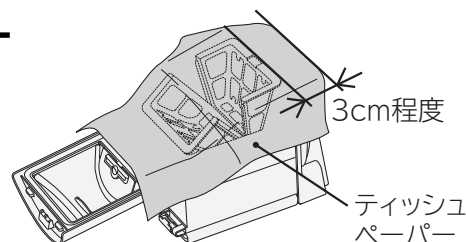
2 ダストケース側面にお手入れブラシを取り付ける

お願い ●お手入れブラシがダストケース側面にしっかり取り付けられていない状態でダストケースを取り付けて運転した場合、ダストケース付近から異音がすることがあります。
お手入れブラシは、ダストケース側面に奥までしっかり取り付けてください。

ごみの捨てかた(続き)

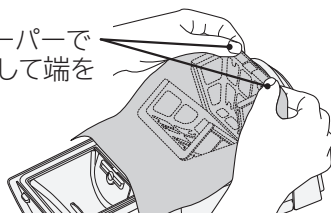
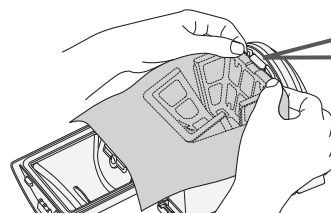
ティッシュペーパーの取り付けかた

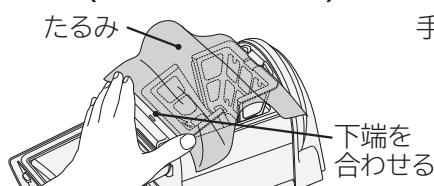
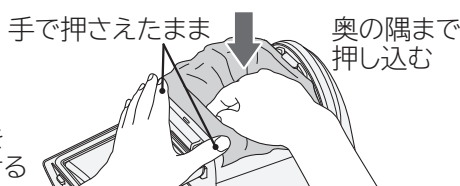
- ティッシュペーパーを使用すると、ごみ捨てがさらに簡単・清潔になりますのでおすすめします。
- **ティッシュペーパーの種類や取り付け状態によっては、ティッシュペーパーが破れることがありますが異常ではありません。**
- **ごみ捨て時にティッシュペーパーが破れていても異常ではありません。**

お願い
- ティッシュペーパーは、一辺の長さが20cm程度で2枚重ねのものをご使用ください。
- ぬれたティッシュペーパーは使用しないでください。
- 立体フィルターにごみが付着している場合は、付属のお手入れブラシで取り除いてください。

1 ティッシュペーパーを広げて、立体フィルターにのせる

ティッシュペーパーの端を、立体フィルターの上端から3cm程度はみ出すようにのせる

2 ティッシュペーパーの上端を立体フィルターに固定する

1 立体フィルターの上端をティッシュペーパーと一緒につまむ

ティッシュペーパーでくるむようにして端をつまむ

2 立体フィルターをごみすてボタンのつめに押し込み、引っ掛ける

3 ティッシュペーパーを立体フィルターの内側にそわせる

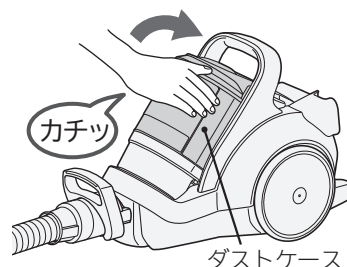
1 ティッシュペーパーの下端を立体フィルターの下端に合わせる(中央をたるませる)

2 ティッシュペーパーの下端を手で押さえたまま、立体フィルターの奥まで押し込む

- ティッシュペーパーはそっと押し込んでください。強く押し込むと、立体フィルターの上端がごみすてボタンのつめから外れる場合があります。

4 ダストケースふたを閉める

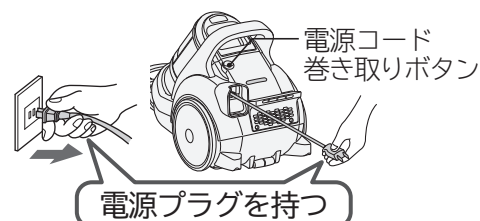
- ティッシュペーパーがダストケースからはみ出していても問題ありません。
- ティッシュペーパーを使用した場合、吸込仕事率が10W程度下がります。

ダストケースの取り付けかた

ダストケースを「カチッ」と音がするまでしっかり取り付ける

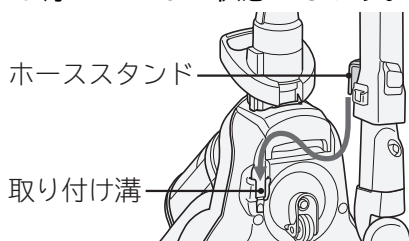
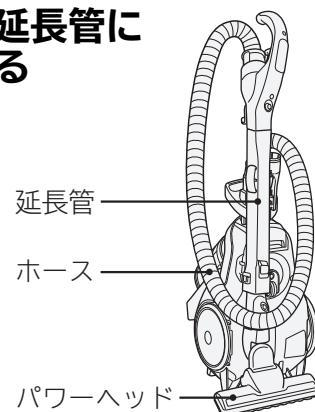
お願い
- ダストケースが奥まで入っていない状態で本体を運転した場合、ダストケース付近から異音がすることがあります。ダストケースは「カチッ」と音がするまでしっかり取り付けてください。

あとかたづけ

電源コードの巻き取りかた

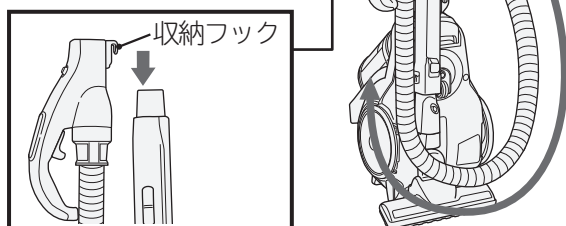
- 電源プラグを持って、電源コード巻き取りボタンのマーク部( )を押しながら、電源コードを巻き取ってください。
- 電源コードを引き出すとき・巻き取るときのカタカタ音は「フィルターお手入れ機構」の音です。異常ではありません。
- 電源コードを巻き取るときは、フィルターお手入れをしません。

⚠注意	**けがをする・家具に傷を付けるおそれあり** ●電源プラグを抜くとき・電源コードを巻き取るときは、電源プラグを持ってください。

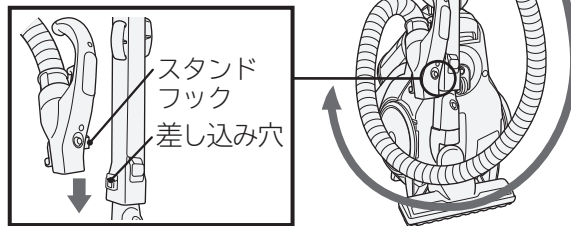
収納のしかた

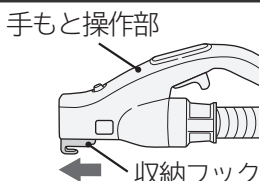
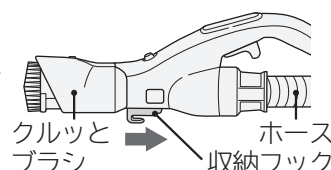
1 延長管を縮めて→(P.6)、取り付け溝にホーススタンドを差し込む

パワーヘッドの底面が右図(手順2)のように床面から浮いていない状態にします。

2 ホースを延長管に巻きつける

さらにコンパクトに収納したいとき

サッと収納

1. 手もと操作部を延長管から外す→(P.2、3)
2. ホースを延長管に巻きつけて、延長管に収納フックを引っ掛ける

コンパクト収納

1. 手もと操作部を延長管から外す→(P.2、3)
2. ホースを延長管に巻きつけて、差し込み穴にスタンドフックを差し込む

■**収納フックの移動について**

・サッと収納のときは、収納フックを手もと操作部の先端側へ移動してご使用ください。

・別売りのクルッとブラシを取り付けるときは、収納フックをホース側に移動してください。

⚠注意	**けがのおそれあり** ●収納状態のままで持ち運ぶと、ホース・延長管や吸口が外れることがあります。

お願い
- ストーブの近くや直射日光が長時間当たるなど、高温になる場所での収納はしないでください。ホースの変形や故障の原因となります。
- ホースがつぶれたり、折れ曲がるなど、変形するような状態での収納はしないでください。

吸込力が弱くなったら

「本体のランプが赤点滅した」、「吸込力が弱くなった」とき

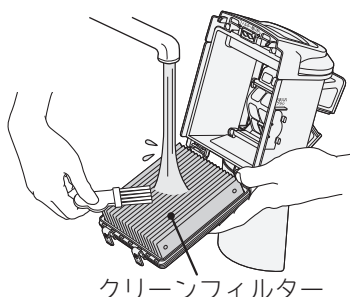
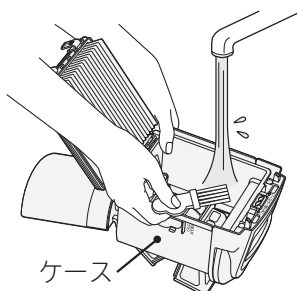
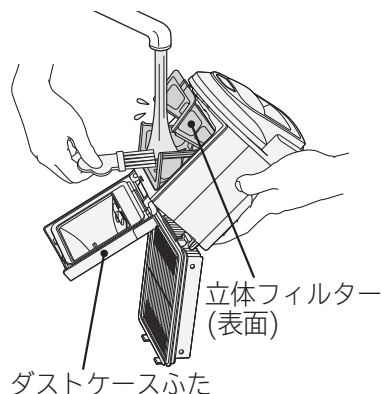
●ダストケース・サイクロン室・各フィルターをお手入れ(水洗い)してください。
●強い吸込力でお掃除していただくため、こまめなお手入れをおすすめします。

●各フィルターを水洗いしたときは、十分に自然乾燥させてください。
クリーンフィルターの乾燥には約12時間必要です。(乾燥時間は、環境や季節によって異なります)

お願い ●お手入れの際に細かなほこりが舞い上がることがあります。屋外など、換気のよい環境でお手入れをしていただくか、マスクを着用するなどして、ほこりを吸い込まないようにしてください。

ダストケース

1 お手入れブラシで水洗いする

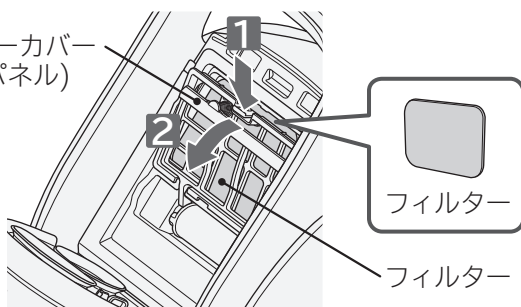
●クリーンフィルターのひだの奥にたまったごみを水で流してください。
●取り外してお手入れすることもできます。→(P.15)

●ケースを水洗いする

●ダストケースふたを開けて立体フィルター表面を水洗いしてください。

⚠注意 **けがのおそれあり**
●ガラスの破片や虫ピンなど鋭利なものを誤って吸い込んでいる場合があります。
注意してお手入れしてください。

お願い ●立体フィルターは強く押して洗わないでください。破損の原因となります。

2 自然乾燥させる

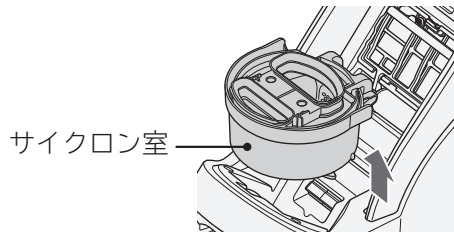
●クリーンフィルターの乾燥には約12時間必要です。(乾燥時間は、環境や季節によって異なります)

フィルター(抗菌加工フィルター)

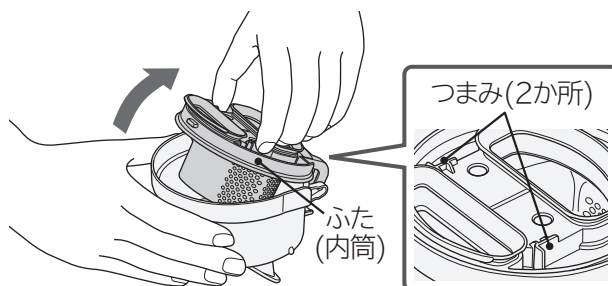
1 フィルターカバー(ビートパネル)を取り外し、フィルターを取り出す

2 水で軽く押し洗いする

●たたいて水気を切り、自然乾燥させます。

サイクロン室

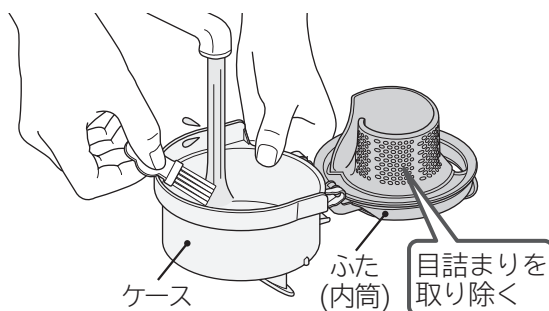
1 サイクロン室を取り外す

2 サイクロン室のふた(内筒)を開ける

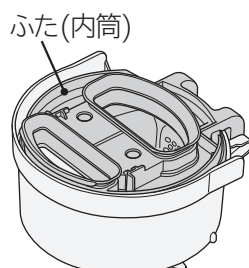
つまみを持ち、矢印の方向に開ける

⚠注意

けがのおそれあり

●ガラスの破片や虫ピンなど鋭利なものを誤って吸い込んでいる場合があります。注意してお手入れしてください。

お願い ●開けるときにごみがこぼれる場合があります。新聞紙などの上で開けてください。

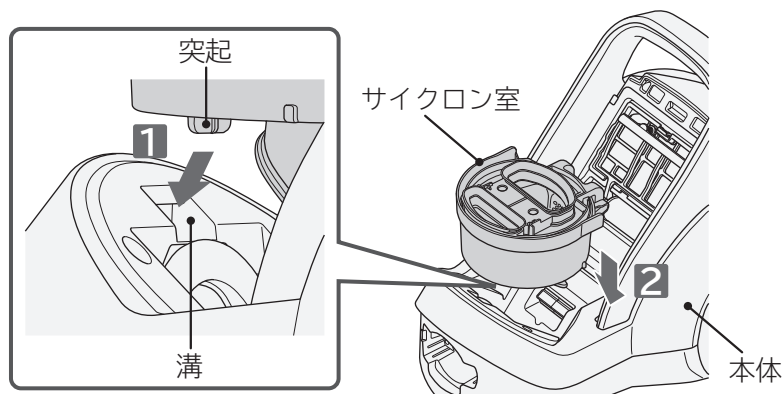
3 サイクロン室を水洗いする

お願い ●付着しているごみは軽く落としてから水洗いしてください。

4 よく乾かしてから、ふた(内筒)を閉める

お願い ●ふた(内筒)はしっかりと閉めてください。しっかりと閉まっていない状態で本体を運転した場合、サイクロン室付近から異音がすることがあります。

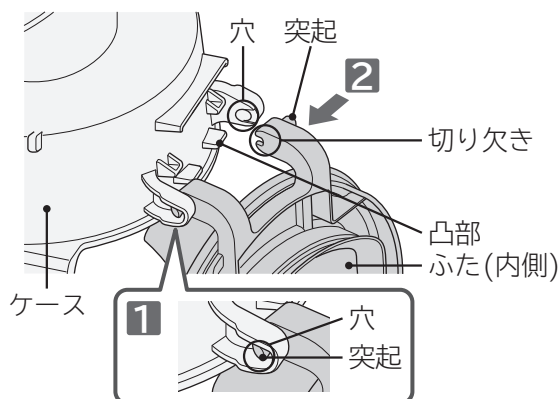
吸込力が弱くなったら(続き)

5 サイクロン室を本体に取り付ける

1 本体の溝とサイクロン室の突起を合わせる

2 奥まで押し込む

お願い
- 洗剤、漂白剤などを使用したり、洗濯機で洗ったりしないでください。また、ヘアードライヤーなどの熱風で乾燥させないでください。性能の低下や破損・変形の原因となります。
- 付着しているごみは、軽く落としてから水洗いしてください。
- 付属のお手入れブラシ以外のブラシは使用しないでください。破損の原因となります。
- 各フィルターを水洗い後は十分に自然乾燥させてから取り付けてください。
  ぬれたままでご使用になると、フィルターが早期に目詰まりし、吸込不良や異臭発生の原因となります。
- ダストケース・サイクロン室および各フィルターは、取り付けて運転してください。
  モーター部にごみが侵入すると、本体内部のフィルターが目詰まりして、本体から異音が発生することがあります。その場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。→**(P.26)**
- 各フィルターを水洗いしても吸込力が弱い場合は、クリーンフィルターなどの劣化が考えられます。
  取り替えをご希望される場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。→**(P.26、27)**

サイクロン室のふた(内筒)の取り付けかた

●ふた(内筒)がケースから外れてしまったときは、下図のように取り付けてください。

1 ふた(内筒)の突起をケース側の穴にはめる

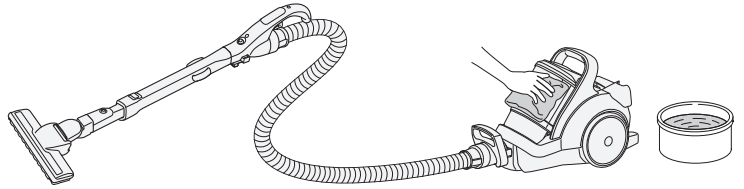
2 矢印方向に押しながら、もう一方のふた(内筒)の突起をケース側の穴にはめる

●ふた(内筒)の切り欠きをケース側の凸部に合わせるようにしてください。

お手入れのしかた

本体・標準付属品・付属応用部品

●汚れが気になるときはお手入れしてください。
水を含ませたやわらかい布をよく絞ってからふいてください。

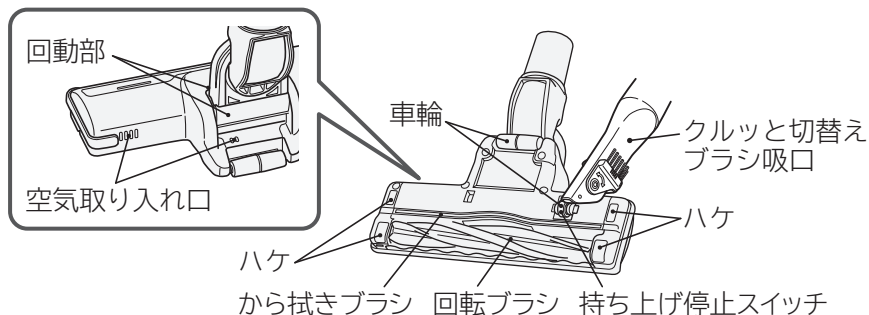
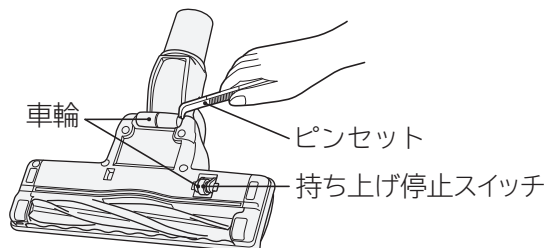
お願い ●ベンジン、シンナー、アルコール、洗剤や化学ぞうきんなどを使用しないでください。
ひび割れや変色の原因となります。

パワーヘッド

●吸込力が弱くなったり、汚れが気になるときはお手入れしてください。
●定期的なお手入れ(月1回程度)をおすすめします。
持ち上げ停止スイッチ、回転ブラシ、から拭きブラシ、ハケ、車輪、空気取り入れ口、回動部にごみが付着していると、吸込力の低下や故障の原因となります。

お願い ●パワーヘッドは、延長管や手もと操作部から取り外してお手入れしてください。

付着したごみを取り除く

●付着したごみを、クルッと切替えブラシ吸口を使って吸い取ってください。

絡みついたごみを取り除く

●絡みついたごみを、ピンセットなどで取り除いてください。

⚠注意

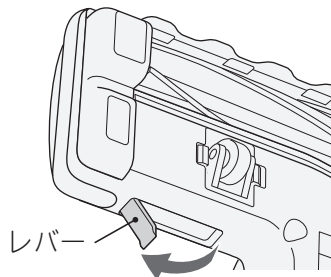
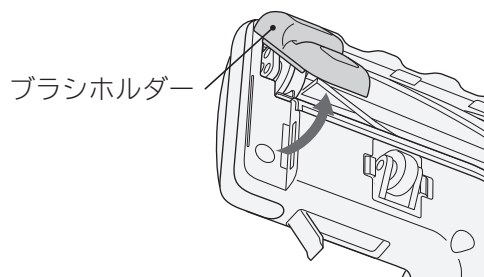
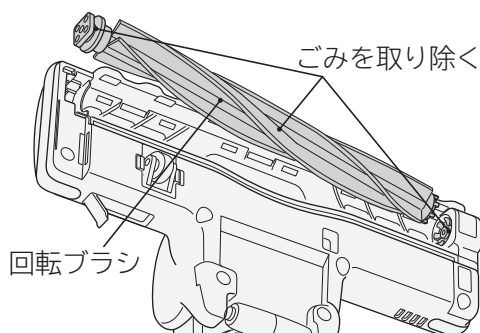
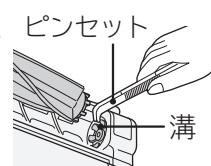
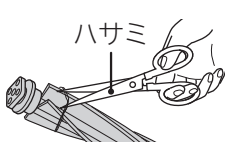
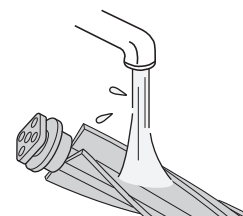
床面に傷を付けるおそれあり
●車輪にごみが絡みつくと、車輪が回転できず、磨耗と床傷つけの原因となります。
●ハケ、車輪、回転ブラシが磨耗しているときは、お早めにお買い上げの販売店にご相談ください。
（ハケ、車輪、回転ブラシは同時交換をおすすめします）→**(P.26、27)**

お願い ●持ち上げ停止スイッチに無理な力を加えないでください。破損の原因となります。

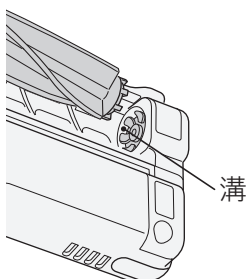
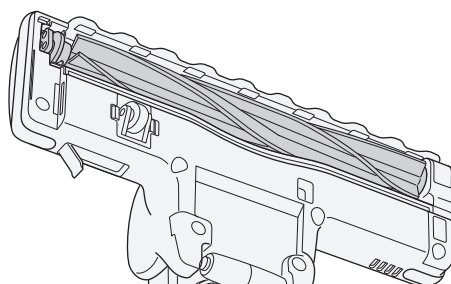
お手入れのしかた(続き)

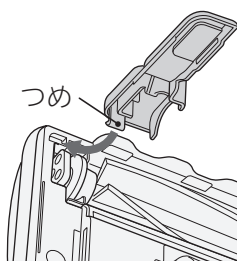
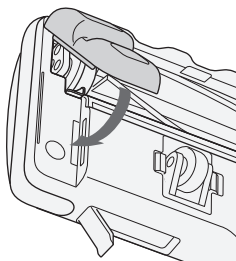
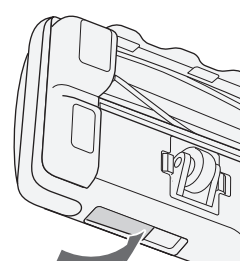
回転ブラシをお手入れする

1 ブラシホルダーを取り外す

1 パワーヘッドを裏返してレバーを開く

2 ブラシホルダーを取り外す

2 回転ブラシを取り外し、ごみを取り除く

お願い
- ●洗剤、漂白剤などを使用しないでください。
  変色、変形などの原因となります。
- ●回転ブラシを水洗いした場合は、十分に自然乾燥させてから取り付けてください。

3 回転ブラシを取り付ける

1 回転ブラシを溝に合わせる

2 元どおり取り付ける

4 ブラシホルダーを取り付ける

1 つめを引っ掛ける

2 ブラシホルダーを取り付ける

3 レバーを閉める

お願い ●ブラシホルダーを取り付ける際には、つめを先に引っ掛けてください。破損の原因となります。

故障かなと思ったら

修理を依頼される前に
次の点をもう一度お調べください

本体が運転できない、パワーヘッドの回転ブラシが回転しない

保護装置が作動している場合があります。次の直しかたにより保護装置を解除してください。

	本体が運転できない	パワーヘッドの回転ブラシが回転しない
保護装置と原因	本体モーターの過熱を防ぐために、自動的に電力を抑える保護運転になることがあります。さらにこの状態で運転を続けると、自動的に運転を停止します。 ・クリーンフィルターのごみ詰まり ・吸込口をふさいだままの運転 ・ホース・延長管のごみ詰まり	回転ブラシに異物を挟み込んだ状態で運転を続けると、パワーヘッドモーターの過熱を防ぐために、自動的に回転ブラシの回転を停止します。 ・異物の挟み込み ・床やじゅうたんなどへの押しつけ
直しかた	「切」スイッチを押し、電源プラグをコンセントから抜く ・ごみ捨て/フィルター・サイクロン室のお手入れをする →(P.13~16､18~20) ・吸込口をふさいでいるものを取り除く ・ホース・延長管に詰まったごみを取り除く	「切」スイッチを押し、電源プラグをコンセントから抜く ・回転ブラシに挟み込んだ異物を取り除く →(P.21、22) ・パワーヘッドを床やじゅうたんに強く押しつけない

約5分後～60分後に保護装置が解除され、再びご使用いただけます。

故障かなと思ったら(続き)

■その他の症状

<table>
<tr><th>症　状</th><th>確認するところ</th><th>直しかた</th><th>ページ</th></tr>
<tr><td rowspan="6">吸込力が弱い</td><td>ダストケースのごみがいっぱいになっていませんか。</td><td>立体フィルターとクリーンフィルターのごみを捨ててください。</td><td>P.13
～
P.16</td></tr>
<tr><td>各フィルターにごみが付着していませんか。</td><td>各フィルターのお手入れ(水洗い)をしてください。</td><td>P.18
P.20</td></tr>
<tr><td>サイクロン室にごみが詰まっていませんか。</td><td>ごみを取り除いてください。</td><td>P.19
P.20</td></tr>
<tr><td>延長管、ホース、本体つぎてにごみが詰まっていませんか。</td><td>ごみを取り除いてください。</td><td>−</td></tr>
<tr><td>パワーヘッドにごみが詰まっていませんか。</td><td>ごみを取り除いてください。</td><td>P.21
P.22</td></tr>
<tr><td colspan="2">延長コードを使用したり、ほかの電気製品と同時にコンセントをご使用になると、電源電圧の低下により、早期に本体のランプが赤点滅する場合があります。定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独でご使用ください。</td><td>−</td></tr>
<tr><td rowspan="2">急に吸込力が弱くなり、しばらくすると回復する</td><td>●パワーヘッドを押しつけたり、ふさぐようにして薄いカーペット、毛足の長いじゅうたんなどをお掃除していませんか。
●クルッと切替えブラシ吸口をカーテンなどに押しつけたりふさぐようにしてお掃除していませんか。</td><td>本体モーターの過熱防止のため、自動的に電力を抑える運転をしています。異常ではありません。
●回復しにくい時は、スイッチを切ってから、もう一度運転をしてください。
●回復後、パワーヘッドは力を入れず、すべらせるように軽く動かしてください。</td><td>−</td></tr>
<tr><td>延長コードを使用したり、ほかの電気製品と同時にコンセントを使用していませんか。</td><td>定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独でご使用ください。</td><td>−</td></tr>
<tr><td rowspan="2">本体が運転しない</td><td>電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。</td><td>しっかり差し込んでください。</td><td>P.6</td></tr>
<tr><td>本体にホースが確実に差し込まれていますか。</td><td>「カチッ」と音がするまでしっかり差し込んでください。</td><td>P.2
P.3</td></tr>
<tr><td>排気や本体があたたかくなる(特に夏場)</td><td colspan="2">空気の流れで本体モーターを冷却しているためで、異常ではありません。</td><td>−</td></tr>
<tr><td rowspan="2">排気から異臭が出る</td><td>各フィルター、サイクロン室にごみが付着していませんか。</td><td>各フィルターのお手入れ(水洗い)をしてください。</td><td>P.18
～
P.20</td></tr>
<tr><td>水洗い後のフィルターの乾燥が不十分ではないですか。</td><td>水洗い後は、十分に自然乾燥させてください。</td><td>P.18</td></tr>
<tr><td>本体から異音が出る</td><td colspan="2">本体内部のフィルターが目詰まりした場合、本体から異音が発生することがあります。お買い上げの販売店にご相談ください。</td><td>−</td></tr>
</table>

症　状	確認するところ	直しかた	ページ
パワーヘッドの回転ブラシが回転しないまたは回転しにくい	パワーブラシが「切」設定になっていませんか。	もう一度、「パワーブラシ切/入」スイッチを押してください。	**P.7**
	本体、ホース、延長管、パワーヘッドなどがしっかり接続されていますか。	しっかりと接続してください。	**P.2** **P.3**
	パワーヘッドが床面から浮いていませんか。	床面から浮かせると止まる構造になっています。パワーヘッドを床面につけてください。	**P.10**
	回転ブラシ、持ち上げ停止スイッチなどにごみなどが付着していませんか。	ごみを取り除いてください。	**P.21** **P.22**
パワーヘッドからカラカラと音がする	持ち上げ停止スイッチの構造上、発生する音です。 異常ではありません。		**–**
ダストケース・サイクロン室付近から異音が出る	本体にダストケース・サイクロン室が確実に取り付けられていますか。	確実に奥まで取り付けてください。	**P.16** **P.20**
	お手入れブラシが確実に取り付けられていますか。	確実に奥まで取り付けてください。	**P.15**
	サイクロン室のふた(内筒)が確実に閉められていますか。	確実に閉めてください。	**P.19**
電源コードが全部入らない、または引き出せない	電源コードが片寄って巻き込まれたり、よじれたりしていることがあります。 電源コード巻き取りボタンを押しながら、電源コードを「巻き取る」「引き出す」操作を数回繰り返してください。そのあと、黄印まで引き出してよじれを直してから、もう一度巻き込んでください。		**–**
ティッシュペーパーが破れる	ティッシュペーパーの種類は適切なものですか。	一辺の長さが20cm程度で2枚重ねのものをご使用ください。	**–**
	立体フィルターに確実に押し込まれていますか。	立体フィルターの内側にそわせて、確実に奥まで押し込んでください。	**P.16**
確認してもまだ異常がある場合		ご自分で修理をなさらないで、お買い上げの販売店へご相談ください。	**P.26**

保証とアフターサービス（よくお読みください）

保証書（別添）

保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。なお、保証期間内でも次の場合には原則として有料修理にさせていただきます。

(イ)使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障および損傷。
(ロ)お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送などによる故障および損傷。
(ハ)火災、地震、風水害、落雷、そのほか天災地変、塩害、公害、ガス害（硫化ガスなど）や異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）による故障および損傷。
(ニ)一般家庭用以外《例えば業務用などへの長時間使用および車両（車載用を除く）、船舶への搭載》に使用された場合の故障および損傷。

保証期間	お買い上げ日から1年間です。
保証期間中は	修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、修理させていただきます。[持込修理対象商品]
保証期間が過ぎているときは	修理して使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理を依頼されるときは（持込修理）

「故障かなと思ったら」→(P.23～25)をご確認のあと、それでも故障と思われる場合には、ご自分で修理をなさらないでお買い上げの販売店にご持参ください。

●修理を依頼されるため、掃除機を販売店にお持ちの際は、標準付属品(ホース、延長管、パワーヘッド)もご一緒にお持ちください。

お知らせいただきたい内容
1.型式：CV-SY100　2.症状：できるだけ詳しく

補修用性能部品の保有期間

この掃除機の補修用性能部品の保有期間は、**製造打ち切り後6年**です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

長時間ご使用になるとき

●一日のご使用時間が極端に長い場合や、共同（寮など）でご使用になる場合には、短期間で部品の交換(パワーヘッドやモーターなど)が必要になることがあります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、定期的な点検を受けてご使用になることをおすすめします。
●このような場合は、保証期間中でも有料になることがあります。

※この掃除機は家庭用です

転居されるとき

●ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。
●電源周波数の異なる地区へのご転居に際しても、部品の交換は不要です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または、「ご相談窓口」(下記)にお問い合わせください。

修理料金の仕組み

修理料金＝技術料＋部品代などで構成されています。

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。そのほか修理に付帯する部材などを含む場合もあります。

愛情点検

長年ご使用の掃除機の点検を！

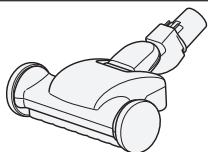
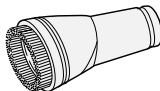
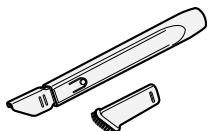
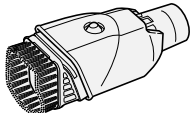
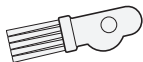
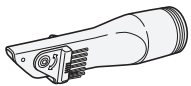
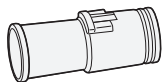
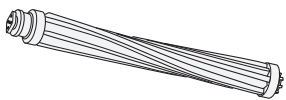
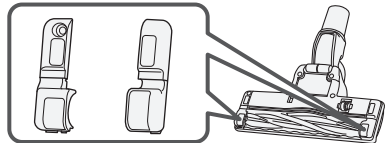
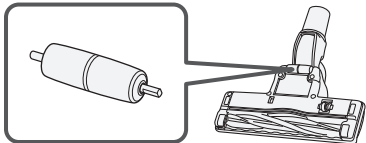
ご使用の際、このような症状はありませんか？	●スイッチを入れても、運転しない ●電源プラグやコードを動かすと、通電したりしなかったりする ●運転中、時々止まる ●運転中、異常な音がする ●本体が変形したり、異常に熱い ●ホースが破れている ●こげくさい“におい”がする ●そのほかの異常がある

ご使用中止	事故防止のため、すぐにスイッチを切り、電源プラグを抜いて、販売店へ点検・修理を依頼してください。

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈り物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。
※下記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

ホームページに「よくあるご質問」について記載しておりますので、ご活用ください。
http://kadenfan.hitachi.co.jp/q_a/index.html

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
お客様相談センターへ
TEL　0120-3121-11
FAX　0120-3121-34
(受付時間) 9:00～17:30(月～土)、9:00～17:00(日・祝日)
年末年始は休ませていただきます。
携帯電話、PHSからもご利用できます。

修理に関するご相談は
エコーセンターへ
TEL　0120-3121-68
FAX　0120-3121-87
(受付時間) 9:00～19:00(月～土)、9:00～17:30(日・祝日)
携帯電話、PHSからもご利用できます。

●「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
●ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
●修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

別売り部品

日立の家電品取扱店でお求めください。
価格は、2013年8月現在の消費税率を基に総額表示を行っています。

電動ふとん吸口 (G-DF1)	はたき吸口 (D-H3)	棚用自在吸口 (D-TJ2)	丸洗いフローリングヘッド (D-F3)
希望小売価格 10,500円(税抜 10,000円)	希望小売価格 3,990円(税抜 3,800円)	希望小売価格 1,260円(税抜 1,200円)	希望小売価格 5,250円(税抜 5,000円)

伸縮すき間用吸口 (D-SH2)	クルッとブラシ	
希望小売価格 1,680円(税抜 1,600円)	希望小売価格 2,100円(税抜 2,000円)	サービスパーツCV-SY7000-029 クルッとブラシとご指定ください ●ホーススタンドを使用した収納をするときは、クルッとブラシを延長管から外すか、手もと操作部に取り付けてください。→(P.12)

●付属応用部品や、補修用性能部品もお買い求めいただけます。

お手入れブラシ	サッとハンドル	クルッと切替えブラシ吸口
サービスパーツ CV-SW200-001 お手入れブラシと ご指定ください 希望小売価格 420円(税抜 400円)	サービスパーツCV-SU7000-043 サッとハンドル とご指定ください 希望小売価格 1,050円(税抜 1,000円)	サービスパーツCV-SY100-017 クルッと切替えブラシ吸口 とご指定ください 希望小売価格 1,050円(税抜 1,000円)
別売り部品接続用アタッチメント	**クリーンフィルター**	**回転ブラシ**
サービスパーツ CV-SM10-033 アタッチメント(SM) とご指定ください 希望小売価格 315円(税抜 300円)	サービスパーツ CV-SY500-011 Bフィルター(SY500) とご指定ください 希望小売価格 1,050円(税抜 1,000円)	サービスパーツCV-SY100-016 ロータリブラシクミ(AP39) とご指定ください 希望小売価格 2,100円(税抜 2,000円)

ブラシホルダー(ハケ)	車輪
サービスパーツCV-SY100-015 ジクウケカバーL,Rセット(AP39)とご指定ください 希望小売価格 315円(税抜 300円)	サービスパーツCV-SY100-014 ローラLセット(AP39)とご指定ください 希望小売価格 840円(税抜 800円)

●上記希望小売価格は、価格改正に伴い変更する場合があります。
●ブラシホルダー(ハケ)・車輪を交換する場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
お客様のご要望により部品交換いたします。部品交換には、部品代のほかに交換作業費がかかります。

仕様

この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

電源	100V　50-60Hz共用	本体寸法	長さ358mm×幅230mm×高さ275mm
消費電力	850W ～ 約180W	標準付属品	ホース……1本 延長管……1本 パワーヘッド……1個
吸込仕事率	330W ～ 約40W		
運転音	59dB ～ 約55dB	付属応用部品	サッとハンドル……1個 お手入れブラシ……1個 クルッと切替えブラシ吸口……1個 別売り部品接続用アタッチメント……1個 ティッシュペーパー……1枚
集じん容積	0.25L (ごみすてラインまで)		
コードの長さ	5m		
質量	4.4kg(標準付属品を含む)		

※吸込仕事率は、ティッシュペーパー非装着時のものです。

抗菌効果	部品名	抗菌の確認を行った試験機関	試験方法	抗菌の方法	抗菌の処理を行っている部品の名称	試験結果(抗菌活性値)
	フィルター	一般財団法人 ボーケン品質評価機構	JIS L 1902に基づく	繊維に練り込み	不織布	2.0以上

※抗菌活性値が2.0以上で抗菌効果があるとされています。

お客様メモ
後日のために記入しておいてください。
サービスを依頼されるとき、お役に立ちます。

ご購入店名　　　　　　　電話

ご購入年月日　　　　　年　　月　　日

日立アプライアンス株式会社
〒105-8410　東京都港区西新橋2-15-12
電話 (03) 3502-2111

3-N8485-1A　　H3(S)